



決算特別委員会

■総括質疑 令和7年9月26日

令和6年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算、公営企業会計決算について、総括質疑が行われ、各分科会においても審査がなされました。
主査報告後、採決が行われ、原案どおり認定・可決すべきと決定しました。



横山隆光委員
(自民)



議員名簿

質 問 県職員獣医師確保対策事業について

獣医師養成確保修学資金給付事業の募集対象が、獣医学の履修課程に在学する5年生に限定されていることから、高校生を含め募集対象の拡大を図り、活用促進すべきと考えるがどうか。

農政部長 学生にとってより活用しやすい制度となるよう、見直しを検討していくと回答

本事業は、県の家畜保健衛生所等への就職を志す、獣医学生等向けの修学資金の給付を行う国の事業であり、県職員獣医師の確保に有用な事業と認識している。これまで、将来に向けた職業選択や具体的な就業先を熟慮する時期が大学5年生頃と考え、本事業の対象学年としていたが、県職員獣医師が減少する中、その確保に向け、制度の見直し等も必要と考えている。今後、学生等からの意見や他県の状況も踏まえ、より活用しやすい制度となるよう取り組んでまいりたい。



録画

その他の質問

令和6年度決算について／外国人材活用の諸事業について／海外への輸出及びインバウンド対策の諸事業について／水道用水供給事業の決算におけるみやぎ型管理運営方式の効果について／環境変動のための養殖業緊急対策事業について

質 問 自然災害や特殊詐欺事件による生活被害等について

警察官の官舎にエアコンが設置されていないところがあるようだが、設置状況はどうか。また、警察犬や囑託者に対する、財政的な支援の充実についてどうか。

警察本部長 エアコンの公費設置や、警察犬に対する費用の増額を行っている と回答

県警の職員宿舎へのエアコンの設置状況について、これまで私費で設置していたところ、昨年度から公費で設置をしており、今後も職員宿舎の建て替え・大規模改修の都度、順次整備をすることとしている。

また、警察犬の出動に伴う燃料費や警察犬維持費等の高騰のため、犯罪捜査の出動及び飼育のために支給している費用を昨年から増額しており、この中で物価高騰対策について措置している。今後も経済情勢などを踏まえ、警察犬借上げ謝金等を増額できないか検討してまいりたい。



録画

その他の質問

村井知事の県政執行信念について／県内産業の先進的な成長促進策について／部局間連携による教職員や学校看護師等の適正配置について



佐藤仁一委員
(県民の声)



議員名簿

質問 多賀城創建1300年記念イベント支援事業について

昨年度実施した記念事業を一過性とせず、今後の取組が重要であり、周辺観光地と連携した誘客も必要である。南門やガイダンス施設の整備が進んでいるが、歴史的価値を守りつつ観光・地域振興につなげるため、政庁の復元をどのように進めていくのか。

知事 復元整備の在り方を含む政庁周辺エリア全体の活性化について検討を進めていく と回答

県では、多賀城政庁の復元について検討を進めることにしているが、考古学的・建築学的な観点にとどまらず、復元後の政庁周辺が魅力的で多くの方に訪れていただけるスポットになるよう、様々な角度から検討するため、幅広い分野の有識者からなる検討会を立ち上げるべく準備を進めている。県としては、多賀城市や教育委員会と連携し、復元整備の在り方を含む政庁周辺エリア全体の活性化について検討を進めてまいりたい。



その他の質問 新・宮城の将来ビジョンについて／
介護サービスについて／基金について



伏谷修一委員
(自民)



議員名簿



杉原崇委員
(自民)



議員名簿

質問 復興完遂に向けた課題について

避難施設としての体育館に空調設備を整備することが急務であると考えるが、空調設備整備臨時特例交付金の活用を含め、避難施設として指定されることもある公立学校体育館への空調設備設置についての現状と今後の対応方針はどうか。

教育長 特例交付金を活用した整備の検討及び市町村への働きかけを行っていく と回答

体育館は断熱性能が十分ではないことなどから、空調設置には大規模な工事が必要となるが、まずは、国の臨時特例交付金制度の活用を視野に入れながら、県立特別支援学校体育館へのエアコン設置について検討を進め、県立高校の体育館については、改修や改築の時期に合わせた整備など様々な整備手法について幅広く検討してまいりたい。また、市町村立学校の体育館については、これまでも特例交付金を活用した整備について、市町村教育委員会に検討をお願いしてきたところであり、防災担当部局とも連携し、引き続き働きかけを行ってまいりたい。



その他の質問 子育て支援について／国民健康保険料の統一について／
1次産業の振興について



金田もとる委員
(共産)



議員名簿

質問 みやぎ防災アプリと地域ポイント等導入支援事業について

純粹に防災アプリの普及を目標とするのなら、マイナンバーカードに登録された基本4情報を、他県の例も踏まえて運転免許証で確認し、別途登録することで利用可とするなど、任意であるマイナンバーカードを持たない県民もアプリを利用できるようにすることに予算を振り向ける必要があったと思うがどうか。

知事 みやぎ防災アプリの特長や利便性を御理解いただけるよう、更なる普及啓発に予算を活用していく と回答

みやぎ防災アプリは、マイナンバーカードの基本4情報に基づく正確な情報を通じて、各種機能を運用する点が、他の防災アプリにはない大きな特長であり、他の証明書を活用する場合、基本4情報の正確性や、証明書の有効期限、改修コストなどの課題もあり、現時点ではマイナンバーカードが最適であると認識している。市町村においては従来どおりの方法による避難指示や避難所受付も併せて実施されることから、マイナンバーカードを保有していない県民に対しても、しっかりと対応できるものである。みやぎ防災アプリの特長や利便性について、県民の皆様には御理解いただけるよう、更なる普及啓発に予算を活用してまいりたい。



録画

その他の質問 個別避難計画について

質問 「小児救急医療対策事業」#8000について

夜間、小児の急な病気や怪我に対して、医師や看護師が電話で助言を行う#8000について、相談件数が2万件を超えているが、小児は症状や痛みを正確に伝えられないため、電話相談では困難との声もある。テレビ通話等の映像で病状を確認できる新システムの導入を検討するなど、さらなる充実を図るべきと考えるがどうか。

保健福祉部長 先行自治体の状況を注視し、県内のニーズや専門家の意見を伺いながら、システムの導入などについて検討していく と回答

いわゆるオンライン診療については、画面を通して医師が患者の様子を確認できることから、保護者の安心感をより高める効果があると考えており、全国状況としても、導入予定や、既に導入している自治体がある。先行する自治体での課題や評価を注視するとともに、県内におけるニーズや専門家の意見などを伺いながら、オンラインシステムの導入などについて検討してまいりたい。



録画

その他の質問

新・宮城の将来ビジョンの財政運営について／
若者人材の定着について



大池康一委員
(公明)



議員名簿

質問 **林業政策**について

県が開発した花粉量が通常の1/100以下のスギ苗木の活用状況について、現在、造林面積の10%台に留まっている。県は2年後までに需要の50%、7年後には需要の100%を花粉の少ない苗木に置き換える目標を掲げているが、昨年度の生産実績と目標達成の実現可能性はどうか。

水産林政部長 中間目標が達成できる見通しであり、引き続き最終目標達成に向け苗木増産に取り組む と回答

現在、我が県で供給している苗木は全て、通常のスギと比較して雄花の着花量が約1%以下である少花粉スギであり、前年度の生産量は約12万本、今年度は約34万本に達する見込みである。また、来年度からは、着花量が50%以下であるものの、成長が早く材質も優れた特定苗木の供給も始めることから、令和9年度の中間目標である50%・40万本は達成できる見通しである。引き続き、最終目標である令和14年度の80万本を達成できるよう、計画的な苗木増産に取り組んでいく。

 [録画](#) その他の質問 国際政策について／財政政策について／芸術振興について



柚木貴光委員
(自民)



議員名簿



渡辺忠悦委員
(立無ク)



議員名簿

質問 **内部統制**について

宮城県内部統制評価報告書審査意見書において、内部統制の不備の件数が減少とあるが、内部統制の不備は、ヒューマンエラーに起因することから、効率的な取組として、業務の進捗が見える化するツールを用いるなど、DXによるチェック体制を構築してはどうか。

会計管理者 DXを活用した取組も含め、効率的かつ不備をなくす取り組みを一層推進する と回答

今年度改定した内部統制行動計画に、ミス発生防止を目的とした業務フロー図の標準形を掲載し、各所属の業務処理手順における潜在リスクや進捗状況について、見える化が図られるよう、その活用を促してきたところである。また、定型的な作業を自動化するソフトウェアロボット「RPA」の導入など、DXを活用した人為的ミスの削減につながる取組が始まっており、こうした取組も含め、効率的かつ不備をなくす取組を一層推進してまいりたい。



録画

その他の質問 令和6年度歳入歳出について



吉川寛康委員
(21世紀)



議員名簿

質問 令和6年度の人口減少対策とその評価について

人口減少の要因の1つとして、若い女性を中心とした若者の県外転出が挙げられ、魅力ある就労環境の整備が急務である。近年、「えるぼし認定企業」が注目されており、女性が就労先を決める大きな指標となっているが、首都圏に集中している現状にある。県内の認定企業を更に増やしていく取組みが急務と考えるがどうか。

環境生活部長 認定を目指す企業に対し専門家を派遣し、認定取得を支援しているところであり、今後更に積極的に支援していく と回答

県では、県内企業で活躍しロールモデルとなる女性を紹介するポータルサイト「ずうっと宮城」において、県内えるぼし認定企業も含めて掲載しているほか、認定を目指す企業に対し、社会保険労務士等の専門家を派遣し、認定取得を支援している。県独自に「女性のチカラを生かす企業認証制度」を設け、664社を認証しているが、そのうちえるぼし認定企業は21社に限られることから、今後更に認定企業が増加するよう積極的に支援していく。



録画

質問 みやぎ産業交流センター施設修繕事業における予算の二重計上について

令和5年度予算が繰り越しされているにもかかわらず、令和6年度予算に改めて債務負担行為が設定されている。いち早く減額補正していれば、他の必要な事業に予算がついたかもしれない、県民から予算をお預かりしている意識が欠けている。関係部局に猛省を求めるがどうか。

知事 ミスがあったことを真摯に反省したい と回答

あつてはならないミスであり、私の管理監督責任もあると思っている。実害はなかったものの、こうしたミスがあったことを真摯に反省し、今後このようなことがあった際には、議会への報告・説明、謝罪について、しっかりと行っていく必要があると考えている。



録画



小野寺健委員
(維新)



議員名簿

質問 学び支援教室支援事業について

令和6年度も、登校に不安を抱えている児童生徒のため、在籍学級とは別に、学び支援教室の設置と専任教員の配置が行われており、子供たち一人一人に丁寧に向き合っていただいていると感じている。今後も、学び支援教室への専任教員の配置維持又は拡充が必要と思うがどうか。

教育長 専任教員の配置に努めるとともに、学び支援教室の拡充を図っていくと回答

学び支援教室には、専任教員等を配置しており、登校に不安を抱える児童生徒一人一人の状況に応じた、きめ細かな支援を行う上で大変重要な役割を担っている。今後も国に対し、教員の加配定数を要望し、専任教員の配置に努めるとともに、教員の配置を工夫するなどにより、学び支援教室の拡充を図ってまいりたい。



中島源陽委員
(無所属)



議員名簿

そもそも県議会とは？

県議会の役割

私たちの県を明るく住みよい社会にしていくためには、県民一人一人が県政に強い関心を持ち、住民の意思が直接反映されたきめ細かな行政が行われるようにすることが必要です。

県議会は、県民の選挙によって選ばれた代表者（県議会議員）によって構成され、条例を制定したり、知事が計画した仕事の方針（議案）を審議し決定（議決）します。その決定に基づいて知事は計画を実行（執行）していきます。

したがって、県議会は、県民が議員を通じて県政に参加する最も重要な場の1つといえます。

